

令和3年度ひがしこうち「食」の開発事業委託業務公募型プロポーザルに係る質疑の回答

令和3年4月22日

質疑書	質疑事項	回答
1	<p>仕様書(2)関係者を集めワークショップなどを通じて支援とあるがワークショップの想定回数は決まっておりますでしょうか？</p> <p>また想定される参加関係者数を教えてください。</p> <p>併せて、ワークショップ開催に掛かる会場の選定や参加者の選定、会場に掛かる経費に関しては本業務の経費に含まれますでしょうか。</p>	<p>ワークショップの想定回数については、事業進捗状況を見ながら両社協議の上、開催いたします。</p> <p>参加関係者は、仕様書「2業務の目的」に記載のあるとおりエリア内9市町村の多様な関係者(商工会・観光協会・事業者等)を想定しており、参加者数を含め、会場および参加者の選定は、両社協議により選定します。なお、ワークショップの開催については、仕様書「3業務の内容(1)」の※印に記載のある過去の食の開発実績を踏まえ、ひがしこうちらしい「食」の開発をイメージできる提案を望みます。</p> <p>ワークショップ開催に関して掛かる経費は、本業務経費に含まれます。</p>
2	<p>業務に関して新ご当地グルメ開発後の提供・販売方法は物販で考えればよいのかもしくは地元飲食店等での提供をベースなのかをご教示下さい。</p>	<p>提供・販売方法は、地元飲食店等での提供・販売が中心になります。物販については、スタート時のメディア向けリリースやイベント開催においては、ひがしこうちPR素材として考慮してください。</p> <p>なお、仕様書「3業務の内容(3)」に記載のあるとおり、来訪者・観光消費額の増加を図る媒体の工夫・発信の方法について具体的な提案を望みます。</p>